

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2022年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『赤と青とエスキース』

青山美智子◆PHP研究所

『硝子の塔の殺人』

知念実希人◆実業之日本社

『黒牢城』

米澤穂信◆KADOKAWA

『残月記』

小田雅久仁◆双葉社

『スモールワールズ』

一穂ミチ◆講談社

『正欲』

朝井リョウ◆新潮社

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬◆早川書房

『星を掬う』

町田そのこ◆中央公論新社

『夜が明ける』

西加奈子◆新潮社

『六人の嘘つきな大学生』 浅倉秋成◆KADOKAWA

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は20年12月1日から21年11月30日の間に刊行された（奥付に準拠）日本の小説（判型問わずオリジナルの小説）

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。